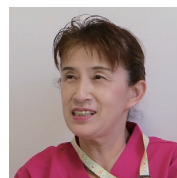
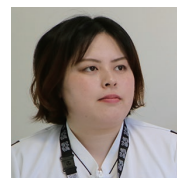




介護サービス室 室長 山口氏



介護士 森下氏



看護師 浅瀬氏



スマートイン
パンツタイプ

リフレスマートラインのパンツタイプ、スマートインをお使いいただいている、長崎県西海市の「社会福祉法人 せいひ会 介護老人保健施設 元亀の里」様にご訪問させていただきました。元亀の里では、ご利用者様にとって、毎日の生活が安心、安全であることを第一に考え、リハビリテーション、在宅復帰、在宅生活支援など、市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となった包括的なケアやサービスを提供しています。今回はスマートインの採用の経緯から、現在のご使用状況を含めて、介護サービス室室長の山口さん、介護士の森下さん、看護師の浅瀬さんにインタビューしました。

ムレが少なく動きやすい

スマートイン パンツタイプ

導入いただくまでの経緯を 教えていただけますか？

山口 「リフレサポーターさんからおむつのサイズ選びやパッド選定の勉強会を実施していただき、その中でスマートインをご紹介いただきました。これまではパンツタイプの使い分けができていなくて、サイズもおおざっぱに見目で決めてしまい、ご利用者さんも少し動きづらそうでした。リフレサポーターさんからスマートインが従来のおむつよりも動きやすく、ムレが少ないとご紹介いただき、導入することになりました」

ありがとうございます！ 実際に使われてみてどうでしたか？

浅瀬 「まずは湿潤状態が良くなって、スキントラブルが減るようになりました。密着性が上がったので普段よりも動きやすくなり、リハビリに積極的になったこと



も導入して良かった点だと思います。ご利用者さんからは『ゴワつきがなくなって動きやすくなった』とおっしゃっていただきましたね」

森下 「ご利用者さんもパンツの上げ下げだけではなくズボンの上げ下げも楽になっているようです。服の上からでもおむつのゴワつきが目立たなくなったのでおむつをはいていることを気にせず快適に過ごせているように感じます」

排泄自立に向けて

その他にスマートインを使用して 現場に変化はありましたか？

山口 「特長のひとつにパンツの中に大型のパッドが取まるとご紹介いただいたので、昼はパンツ、夜はテープだったご利用者さんがスマートイン1枚で対応できるようになりました。そのおかげでおむつの交換回数が減り、職員の負担が少なくなったので非常に助かっています」

森下 「排泄介助にかかる時間が少なくなることで、他のケアにかかる時間も増えたように感じます。職員もご利用者さん自身でパンツやパッドを交換できるように促したり、自立した生活ができるようなケアを意識するようになりましたね」



要だと思います。ご家族さまも排泄介助に対して不安を抱えていると思うので介助がしやすく、ご利用者さんにも快適に過ごしやすいおむつを提案していきたいですね」



おむつ選びはご利用者様の 生活にも深く関わっているのですね。 今後の施設の目標はありますか？

山口 「今後はおむつを使用されているご利用者さんや、特に在宅復帰を目的にされているご利用者さんには、積極的におむつ外しに取り組んでいきたいと考えています。その取り組みの足がかりとしてスマートインのような機能的なおむつを使用していきたいと考えています。ご利用者さんの健康にもつながりますし、そうすることでご家族さまも安心すると思います。今後も機能性の高い商品はどんどん試していきたいですね！」

在宅復帰に向けた おむつ選び

おむつ選びに関して、 重視していることはありますか？

浅瀬 「ムレが少なくなることはもちろん、肌に優しく、スキントラブルを起こさないことが重要だと思います。スキントラブルを起こすと一番苦痛に感じているのはご本人で、からだが痛いと感じる事が苦痛になり、気持ちも後ろ向きになると思います」

山口 「在宅で介助されるご家族さまにとっておむつ選びは特に重

ありがとうございます！

我々もおむつメーカーとして
そういったきっかけづくりが
できていると思うと嬉しく思います。
本日は色々とお話を聞かせていただき、
ありがとうございました！

